発行所：認定ＮＰＯ法人 ベトナム子ども基金
〒 113-0021 東京都文京区本駒込 2-12-13 アジア文化会館内
電 話：03-3945-2415
電子メール：info@v-c-f.org　ホームページ：http://www.v-c-f.org/
フェイスブック：https://www.facebook.com/vnkodomokikin

# ベトナム子ども基金通信

No.82
2023.8.19

ロンアン省 小学校の子どもたち。(2023年3月31日、奨学金、本の贈呈式で訪れる。中央は運営会員の道又さん)

日本とベトナムの未来は今の私たちの行動にかかっている。これまでビジネスを通してベトナムの方達と触れ合ってきた中で思うことは、両国ともにお互いの国への理解と勉強不足が否めないということである。昨今、在日ベトナム人の方達の人数は過去最高の50万人を超えてきた。ますます日本とベトナムは切っても切れない関係になっている今、両国が正しく理解し、コミュニケーションが取れる場が重要になってきていると考えている。

一般社団法人日本ベトナムビジネス連合会（以降JVBA）は、そんな日本とベトナムとの正しい理解での『共存』とビジネスの『共創』をVISIONに、コロナ禍の2021年7月に設立した、日越をビジネスで繋ぐコミュニティである。

JVBAの基本的活動である勉強会『日越企業の海外政策を考える会』では、日本の企業家に対して、ベトナムビジネスのポイントや実例などを、各種講師をお招きしてセミナー形式で開催。そしてもう一つ欠かさないイベントとして、在日ベトナム人と日本人経営者の交流を図るイベント『日越ビジネスネットワーキングパーティー』を開催。毎回20名～30名程度、ベトナムに興味を持つ日本人経営者、在日ベトナム人（経営者、就業者、留学生）の方が集まり、一つのテーマをもとに共通の理解と交流を楽しんでいる。参加者からは、日本人は日本人で固まってしまう、ベトナム人もまた同じ。このような国を超えての交流ができる環境が日本にあることはとてもありがたいとの声が多く、JVBAが行っている日越交流の大きな意義でもある。JVBAではこのような活動に共感をしていただける企業様からの会費をもとに、在日ベトナム人、ベトナム国内に向けた支援も行っている。2022年はベトナムの孤児院に向けた本の寄付を行い、同年12月にはドンズー日本語学校の視察とホゥエ校長との対談をした。ホゥエ校長とは両国のビジネスの未来について話しあい、今後もJVBAはできる範囲での寄付と支援を継続して行っていきたい考えである。日本とベトナムの明るい未来のために。

一般社団法人
日本ベトナムビジネス連合会
理事長　五味 峻一

# 本の運動 活動報告

子どもたちへの応援として、新たにベトナムの子どもたちに本を届ける活動をはじめました。(もちろんベトナム語の本です)

日本でも、本を読む授業や朝、本を読む時間を取っている学校が多いと聞きます。IT化で画像に触れる機会が多くなり、以前より子どもたちが本を読まなくなったのは、日本もベトナムも同じです。本を読むことは、想像力・集中力が鍛えられ学力向上とやさしい心を育てます。ぜひ、一冊でも多くの本を読めるような環境を整え、子どもたちがよい本と出会い、成長に役に立ててもらえたらうれしいですね。

今後とも本を多くのベトナムの子どもたちへ届けていきたいと思います。ご支援・応援よろしくお願いいたします。(寄付金を受け付けております。)

## 支援活動の様子

1. 寄付者　月島倉庫株式会社
2022年9月19日(月)15時半～17時　　場所:ホーチミン市　学校名:Nguyễn Văn Trỗi中学校
本の贈呈数:266冊　本棚:1台

校長先生からお礼

うれしそうに本を読む学生

学生からのお礼

贈呈された本と本棚

寄贈された本棚と本、図書館の先生

寄贈された本

2. 寄付者　月島倉庫株式会社
2022年9月20日（火）9時～11時　場所：ドンタップ省　学校名：Lý Thường Kiệt小学校
本の贈呈数：307冊　本棚：１台

来賓席

式典に参加する学生

お礼の言葉（小学校のある地域の教育訓練省より）

感謝状（小学校がある地域の代表より）

学生たちと本を入れる

贈呈された本

3 寄付者　月島倉庫株式会社
2022年9月23日（金）13時～14時半　場所：バリアブンタオ省　Quang Trung中学校　本の贈呈数：179冊

学生たちに本を読むことの大切さをお話ししてくださっている金城さん

金城さんのお話を熱心に聞く学生

うれしそうに本を読む学生１

うれしそうに本を読む学生２

校長先生から感謝状

図書館で記念撮影

４. 寄付者　月島倉庫株式会社
　2023年3月31日（金）9時～11時半　場所：ロンアン省　Quang Trung中学校　本の贈呈数：185冊

寄付された本

寄付する本を並べる金城さん

金城さんと校長先生

小学校の図書室

５、寄付者　一般社団法人日本ベトナムビジネス連合会　2022年12月10日
場所：ホーチミン市 ドンズー日本語学校（ロンアン省のロクタイン村の文庫にに寄付することになっております。）本の贈呈数　143冊

ドンズー日本語学校の学生たちと代表の五味氏

寄贈される本

６、寄付者　文京区国際交流フェスタ　バザー募金　2023年3月29日
場所：タイグエン省　Lũng Luông小学校　本の贈呈数　151冊

ベトナム子ども基金の樋川(左)と校長先生のHoa先生(右)

ビー玉で遊んでいる姿。モン族の言葉で話しています

モン族の子どもたちはベトナム標準語の理解がまだ完璧ではないため、文字が大きく、写真や絵が多い本を選びました

学校周辺の風景。山の頂点に学校を建てるのは本当の奇跡

# 里親基金のご報告

2022年9月～2023年8月分の青葉奨学金は無事に里子たちに直接渡すことができました。里親の皆様にはあたたかい応援をいただき感謝申し上げます。子どもたちが奨学金を受け取り益々勉学に励んでくれることを願っております。(奨学金支給は2回にわけて支給されてきましたが、今回は全額を1回で支給することになりました)

■支給式の日時　2023年3月29日
場所　Quang Nam (クワン ナム)
学校名 Phan Boi Chau (ファン ボイ チャウ)高等学校
支給人数 2名　支給金額 4,600,000ドン

■支給式の日時　2023年3月29日
場所　TAY NINH(タイ ニン)市教育訓練局
学校名 Le Quy Don (レー クイドン)高等学校
Vo Van Truyen(ヴォ バン ツエン)中学校
Chu Van An(チュ バン アン)中学校
Nguyen Hien(グェン ヒエン)小学校
支給人数 8名　支給金額 12,200,000ドン

■支給式の日時　2023年3月31日
場所　Tinh Long An (ロンアン省)
学校名　午前 Dong Thanh(ドン タイン)小学校
午後 Hau Nghia(ハウ ギア)高等学校
Huu Thanh(フー タイン)小学校
Dong Thanh(ドン タン)中学校(3名)
Hau Nghia(ハウ ギア)高等学校(10名)
Duc Hoa(ドゥック ホア)高等学校(15名)
An Ninh(アン ニン)高等学校(4名)
Vo Van Tan(ヴォ バン タン)高等学校(8名)
Huu Thanh(フー タイン)小学校(12名)
支給人数 52名　支給金額 104,600,000ドン

■支給式の日時 2023年4月 3 日
場所　ホーチミン市
学校名 午前 Giong Ong To(ゾン オン トー)小学校(22名)26,400,000ドン

ゾン オン トー小学校

ゾン オン トー中学校

午後 Giong ong To(ゾン オン トー)中学校(19名)32,300,000ドン

■支給式の日時　2023年4月4日
場所 ホーチミン市
学校名 午前 Luong The Vinh (ルーン テ ヴィン)小学校(6名)7,200,000ドン

ルーン ディン クア中学校

ルーン テ ウィン小学校

ビン チュン ドン小学校

グェン バン チオイ小学校

Luong Dinh Cua (ルーン ディン クア)中学校
(1名)1,700,000ドン
午後 Binh Trung Dong (ビン チュン ドン)小学校
(21名)25,200,000ドン
Nguyen Van Troi(グェン バン チオイ)小学校
(19名)22,800,000ドン

■支給式の日時　2023年4月 5 日
場所　ホーチミン市
学校名 午前 Nguyen Van Troi(グェン バン チオイ)
中学校(3名)5,100,000ドン
Thanh My Loi (タイン ミー ロイ) 中学校
(3名)5,100,000

グェン バン チオイ中学校

タイン ミー ロイ中学校

■支給式の日時　2023年4月 10 日
場所　ホーチミン市
学校名 Nguyen Viet Xuan(グェン ベト スワン)小学校
支給人数　17名　支給金額　20,400,000ドン

グェン ベト スワン小学校

■支給式の日時　2023年4月 22日
場所　ホーチミン市 ドンズー日本語学校
学校名　Gia Dinh(ザ ディン)高等学校(1名)
Nguyen Van Nghi(グエン バン ギー)中学校
(2名)
Vam Co Dong(ヴァム コ ドン)小学校(1名)
支給金額　6,900,000ドン

■支給式の日時　2023年5月 6日
場所　Tinh Phu Tho(フート省)
午前　Thanh Thuy(タイン トゥイ)郡(14名)
午後　Doan Hung(ドアン フン)郡(21名)
学校名　午前 Thanh Thuy(タイン トゥイ)高等学校
(2名)
Trung Nghia (チュン ギアー)高等学校
(2名)
Thanh Thuy(タイン トゥイ)中学校 (2名)
Thach Dong(タッツ ドン)中学校(1名)
Hoang Xa(ホアン サー)中学校(1名)
Phuong Mao(フン マオ)中学校(1名)
Son Thuy(ソン トゥイ)中学校(1名)
Dao Xa(ダウ サー)中学校(2名)
Bao Yen(バウ イエン)中学校(1名)
Dao Xa(ダウ サー)小学校(1名)
午後　Doan Hung(ドアン フン)高等学校(5名)
Chan Mong(チャン モン)高等学校(1名)
Que Lam(クエ ラム)高等学校(1名)
Van Du(バン ユー)中学校(1名)
Tien Son(テエン ソン)中学校(1名)
Yen Kien(イエン キエン)中学校(1名)
Hung Long(フン ロン)中学校(1名)
Minh Phu(ミン フー)中学校(1名)
Thanh Thuy(タイン トゥイ)中学校(2名)
Hop Nhat(ホプ ニャット)中学校(1名)
Vu Quang(ヴー クワン)中学校(1名)
Hung Xuyen(フン スエン)中学校(1名)
Phong Phu(フォン フ)中学校(1名)
Tan Phuong(タン フン)小学校(1名)
Hung Xuyen(フン スエン)小学校(1名)

Doan Hung郡での奨学金支給式(中学生)

タイントゥイ郡での奨学金支給式

Doan Hung郡での奨学金支給式(小学生)

Chi Dam(チー ダム)小学校(1名)
Minh Phu(ミン フー)小学校(1名)
Hop Nhat(ホプ ニャット)小学校(1名)

給人数　35名
支給金額
Thanh Thuy(タイン トゥイ)郡　25,700,000ドン
Doan Hung(ドアン フン)郡　37,400,000ドン

# 黄梅基金 活動報告

黄梅基金はまとまった資金を寄付していただいた場合、寄付者名や特定の名称を冠した冠奨学金を設置し現在22の基金が設立されております。困窮家庭で頑張っている子どもに広く教科書代、文房具代として一人1,000,000VND /年を支援しております。
黄梅基金では学校建設のための冠寄付も募っており、これまで 9 校の学校校舎建設を行っております。

現在1,143,127,464VNDの資金をNamAbank銀行に預け、金利で得た金額をベトナム子ども基金奨学金として支援しています。

| 年度 | 受取利息(VND) | 口座から引き出した金額 | 年度の支給 | | 年末残高(VND) |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 支給人数 | 支給総額(VND) | |
| 2018 | 68,316,149 | 64,500,000 | 129 | 64,500,000 | 906,275,180 |
| 2019 | 74,948,957 | 75,500,000 | 0 | 0 | 905,724,138 |
| 2020 | 78,435,710 | 0 | 0 | 0 | 984,159,848 |
| 2021 | 77,912,087 | 0 | 0 | 0 | 1,064,100,535 |
| 2022 | 77,403,529 | 2019年分を使って支給 | 75,5 | 75,500,000 | 1,143,127,464 |

2019年　2019年度の利息で支給の準備を進めていましたが、2020年2月に感染の拡大により、実施を見送ることになりました。
2020年　コロナの影響で支給できませんでした。
2021年　コロナの影響で支給できませんでした。

支給先
2018年
・Nghe An 省奨学会･･･30名
・Quang Nam 省奨学会･･･30名
・Binh Đinh省奨学会･･･30名
・Lac An, Binh Duong省奨学会･･･20名
・Tan Thanh 2 小学校, (Lam Đong省)･･･19名

2022年
・Đông Thap 省奨学会･･･37名
・Quang Nam 省奨学会･･･20名
・Thanh My Loi 中学校(ホーチミン市)･･･18名
・Châu Thành 高校(Ba Ria - Vung Tau 省)・・・0.5名

2022年から支給額が1,000,000に変更されました。2022年の支給人数の欄には、75.5名と記載いたしましたが、実際は、76名に奨学金を支給いたしました。76名に支給するには、76,000,000VNDが必要だったのですが、2019年に銀行から引き出したお金の金額は75,500,000 VNDでした。不足分の500,000 VNDは、他の基金のお金で補ったのです。
現在まで3690名に支援しており、総支給額は1,147,536,020VNDになります。

ドンタップ省黄梅奨学金時授与式１

ドンタップ省黄梅奨学金２

## 青葉奨学金・黄梅奨学金寄付者様へ
## ドンズー学習支援会　代表　NGUYEN DUC HOE氏より感謝の言葉

「奨学金を頂いた学生は大変感謝しておりました。ベトナムの子ども達にとって奨学金を頂くことは勉学の励みにもなりますし、大きな心の支えとなります。言葉では言い表すことができないほど感謝の気持ちでいっぱいです。
日本の皆様のやさしいお気持ちと、ベトナムの子どもをつなぐことが私たちの使命だと思っております。今後もベトナムの子どもを支援していただけることよろしくお願いいたします。最後になりますが、ベトナム子ども基金の皆様のご家族のご健康、ご幸福をお祈り致します。本当にありがとうございます。」

# 里子訪問記

私のベトナムとの出会いのきっかけは、7年前通訳として働いていた際に、ベトナムの団体との姉妹締結に立ち会う機会がございました。ベトナムの団体の方々は殆どが女性で、同じ女性が国際的な舞台で活躍している姿を見てベトナムという国に興味を惹かれ、訪れたことです。
またそれが初めての海外旅行だったこともあり、目に映るもの全てが新鮮で、ベトナムに対する愛着が湧きました。
ベトナムは、人々がとても明るく一生懸命に働いていて、街に活気があり、子どもがたくさんいて訪れる度に元気をもらえます。それから私は元気をチャージする為に年に一度のペースで訪れております。
そのような中で偶然ベトナム子ども基金様のホームページを拝見し、早速里親基金に申込みました。　支援が一過性のものではなく、継続して里子の成長を見守り続けられることに、魅力を感じたからです。
それから約3年、コロナ禍での渡航制限が解除され、初めての里子訪問が叶いました。

里子と島袋さん

まずは里子のハンちゃんの学校に出向き先生方とお目にかかりました。　ハンちゃんの学校での普段の様子についてお話を伺いました。
その後担任の先生と一緒にハンちゃんの自宅にお邪魔しました。ご家族の皆様に温かく出迎えていただき、ハンちゃんも訪問を喜んでくれて、とても嬉しかったです。
ハンちゃんとは将来の夢についてや、学校生活のこと、私の日本での生活のことなど沢山のお話をしました。
厳しい経済状況の中、前向きに頑張っている姿を見て私も支援を継続できるよう頑張ろうと思いました。
今回の訪問は観光だけでは見られないベトナムを知ることができ、私にとりまして大変貴重な経験となりました。　今回の訪問にあたり、サポートしてくださったベトナム子ども基金様に改めて感謝申し上げます。

島袋　昌美

里子のご家族たちと

3月９日に里子（マイちゃん）と面会いたしました。まずはその準備に関わっていただいた樋川さんそして東遊日本語学校のトアンさん、ズーンさんそして歓迎していただいた副校長様にお礼を申し上げます。「どうもありがとうございました。」
仕事の関係でアジアを中心に海外に行くことが何度かある中で、お世話になった国々で何か自分にできることはないだろうかと考えることがありました。そんな中近年はベトナムに行く機会があり、ベトナムについてい

小学校にて面会

ろいろ検索している中で“ベトナム子ども基金”を知りました。
　その活動の中で里親制度に興味を持ちました。自分のわずかな寄付金がどなたかの為になっているのが分かるというところに他とは違う魅力を感じ参加させていただいております。
　訪問当日はマイちゃんは終始緊張していて、申し訳なく思っています。お兄ちゃんも同じ学校でしたのでお兄ちゃんにも面会できました。毎日、お兄ちゃんが自転車でマイちゃん乗せて通学しているとのことでした。良い兄弟だなと感心しました。また、マイちゃんはドクターになる希望をもっているようです。「ずっと日本から応援しますよ」と伝えました。（伝わったかな？）
　それから、ご父兄の方からお土産もいただき、私からもプレゼントを渡すことができました。また必ず訪問をしたいと思いました。成長していく彼女の将来が楽しみです。
　その際はまたご面倒をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

平澤　昌也

マイさんとお兄ちゃん、平澤さん

# 出張報告

## １回目（２０２２年９月１７日～９月２３日）

　コロナの現状が緩和されたので3年ぶりにベトナムへ行き、里子たちへ青葉奨学金贈呈式、黄梅奨学金贈呈式、ヴォンレン基金の大学生と交流、本の式等活動をしてまいりました。今回はベトナム子ども基金の経理をお願いしております、サテライトオフィスの川崎さんも研修として同行してくださり、楽しい出張となりました。コロナが蔓延している間は、ベトナムでは長い期間、ロクックダウンで街が封鎖され、外出の自由もなく、学校もお休みになっていました。多くの里親さんが里子のことがとても心配だったと思います。現地のパートナーであるドンズー学習奨励会（元青葉奨学会）は学校の先生方や地域の奨学会と連携をとり、コロナの蔓延の間も、きちんと里子たちに奨学金を届けることに努力してくださいました。本当に感謝しております。また、現地スタッフの子どもたちに対する優しいややりを強くかんじました。そして、一緒に活動する仲間として絆がますます深まり、久々の再会を心か喜んでくれました。
　今回から新しい支援として、子どもたちに本を届ける「本の運動」をはじめました。以前から計画をしていましたが、突然のコロナ禍でなかなか実行ができませんでした。子どもたちが将来の糧になるような本と一冊でも多く出会った欲しいと思っております。
　実際に現地で活動をしてみて、ここ数年でベトナムの経済発展は著しく、子どもたちの教育環境も変化してきました。しかし、発展に取り残された家庭の子どもたちが大勢いることも悲しい現実です。ベトナム子ども基金は子どもたちに直接支援をしていくことを基本としております。どのような支援が必要か？時代に合わせて子どもたちが元気に成長をしていけるよう会員の皆様と考えながら進んでいこうと思いました。

ヴォンレン 基金の大学生の勉強会

ヴォンレン 基金奨学生

青葉奨学金贈呈式

青葉奨学生とけん玉をして交流

## ２回目（２０２３年３月２７日～４月４日）

ベトナム子ども基金を東大留学時代からボランティアで手伝ってくれているベトナム人ホアンさん（現在は家庭を持ち、小学生１年生の父親となり日本で暮らしています。）の熱い思いを受け、北部の少数民族の子どもたちに本を届ける支援をしてきました。また、後半はホーチミン市での里子への奨学金支給式、ロンアン省での本の授与式、黄梅奨学金贈呈式へ参加してまいりました。（青葉奨学金、黄梅奨学金報告　本の運動報告を参照）

## 山岳地帯の少数民族への支援

3月29日「山岳地域の貧困子ども基金」（Quỹ　Trò Nghèo Vùng Cao）の皆様に同行していただき、ハノイから車で三時間ほどのタイグエン（Thái Nguyên）省のモン族の村にある Lũng Luông小学校へ、3月11日に文京区国際交流フェスタで集めた募金で購入した本を届けに行ってきました。

6時にハノイを出発、途中で雨が降ってきたので、現地まで届けることができないかもしれないという連絡が入りました。小学校は山の上にあり、そこまでの道は、車一台がやっと通れるような細い道で、ガードレールもなく運転をまちがえれば・・・惨事なってしまいます。雨が降ってしまうと車が滑って危ないので、小学校まで本を届けることができません。先に「山岳地域の貧困子ども基金」さんが子どもたちの成長を助ける為にビタミンや牛乳を周辺の学校に配るので一緒に学校見学をすることになりました。その内に奇跡的に雨もあがり、ドライバーのフォン（Phong）さんの腕を信じ山道を登っていきました。

モン族の子どもたち

Lũng Luông小学校は「山岳地域の貧困子ども基金」が「少数民族の貧困地域の子どもたちにもよい環境で教育を受ける権利がある」と、ベトナム人の有名な建築家であるHoàng Thúc Hàoさんの協力を得て、校舎を建築した学校です。この学校で学ぶことのできる子どもたちは幸せであると思いました。
この小学校に通ってくる子どもたちの多くの家庭の世帯収入は1000-2000円ほどで、貧困家庭として政府からの支援を受けています。
到着がおくれ、子どもたちはお昼寝（12:00～13:30）の時間になるので、子どもたちとは少ししか交流できず残念でしたが、我々を恥ずかしそうな笑顔で迎えてくれて、とてもうれしかったです。子どもたちはモン族の言葉で会話をしていました。
子どもたちがお昼寝に入ってしまったので、先生達に本を渡しました。

この学校では、本を読む部屋や週に一度本を読む授業があるそうです。しかし、本の数が足りず困っていたので、たいへん感謝されました。今回は子どもたちが楽しみながら勉強できるような漫画や写真が多い本を多く選びました。後日校長先生から子どもたちの読書の感想を聞くことになっています。

今回周辺の学校も訪問しました。どこの学校でも子どもたちが読む本が足りず、「ぜひ本を寄付してほしい」と、嘆願されました。また、訪問した学校は、子どもの遊び道具も少なく、二つのビー玉をぶつけあって、１０人の子どもたちが、声をあげて、楽しそうに遊んでいる姿が印象的でした。

これからも、少数民族の子どもたちにも本を届けていきたいと思っております。ご寄付を希望される方は、事務局までお問い合わせください。

ベトナム子ども基金事務局　樋川好美

学校の周辺のようす

# ベトナムからの手紙

## 弁護士になりたい！

グェン・チャン・ゼム・ミ

青春は、将来の志望・希望をたくさん抱える時期です。それは、海に出る探検船のような存在であり、港で停泊するのではなく、嵐を乗り越え、知りたいことを自分の目で検証して、新エリアを探し出す使命を持っています。私もその探検船のように、どんな状況であってもどんなに時間がかかっても夢に向かってたゆまぬ努力を続けています。

自分の能力・趣味・環境に合う仕事を探すために、様々な業職を調べてみました。学校の自然科学が得意ですが、社会科学が強みではありません。特に英語科目には色々頑張ってきました。グローバル社会にはどの業職でも英語が必要となります。自分の英語能力が少し改善できましたが、自信できるレベルではありません。

高校卒業後の学部を決めました。それが法学部です。弁護士になりたいです。かなり驚きです！自然科学が得意な一方、社会科学が苦手な法律を学びたいのですから。悩んだこともありますが、その決断は正しいと信じます。自分の記憶力と分析力には自信があります。覚えにくいことを覚えるのは大変ですが、私のような性格には相応しいかと思います。

今まで私の勉強をサポートしてくれた家族や里親さまにお礼を申し上げます。それは、物質面だけでなく、私にとって精神的に大きな贈り物です。勉強の道に歩き続けるための心の支えにもなります。私は頑張って、この贈り物を正しく、自分の夢の目的のために使います。

終わりに、皆さんがいつもお元気で、いつも幸せで、困難な状況にある子供たちとともにいてくださることを願っています。青葉奨学会のますますの発展をお祈りします。

## 大好きです！

ホー・ミン・トゥー

おかあさま、こんにちは。私はHo Minh Thu、おかあさまに愛されたり、色々サポートされたりした小学生の女の子でした。そろそろ大学に入学する新入学の大学生になります。時間が経つのがとても早いと思いませんか。10年間が経ちました。おかあさまが私と10年間同行してきました。おかあさまの今の気持ちはどうでしょうか。私はとても幸せです。10年間の間、おかあさまの愛情が変わらないと感じています。私はもっとおかあさまを尊敬して、大好きです。

いつも言っていますが、おかあさま、ありがとうございます。文学の中に愛情の表現のためにたくさんの言葉がありますが、おかあさまに対しての愛情や感謝の言葉が見つかりません。おかあさまが知らないかもしれませんが、おかあさまのサポートは私にとって特別な意味があります。おかあさまは私を家族のように扱ってくれて、心から感謝しています。私の人生に現れて感謝の気持ちがいっぱいです。

おかあさまの愛情とサポートのおかげで、12年の学生時代が無事に終わりました。人生の大事な試験も終わりました。私の成績はとてもいいです。私もいつも頑張っていきます。なので、おかあさま、私のこと心配しないでください。これから、もっと難しい段階になりますが、おかあさまのおかげで、必ず超えて、おかあさまみたいな素晴らしい人になります。

心よりおかあさまに感謝の気持ちを送ります。特におかあさまの海のような大きな援助に対して、尊敬します。感謝の言葉も足りないと思いますが、今までの援助、ありがとうございます。

もう一度ですが、私のために色々なことをして頂いてありがとうございます。おかあさまとご家族のご健康と幸福を祈っています。心から、おかあさまに感謝と愛情の気持ちを送ります。

大好きです！

## 精神的励みに

ファム・チャン・ホアン・ミン

私は、経済的に他の生徒達ほどは恵まれない家庭に生まれ、幼い頃に両親は他界してしまっ

て、母方の祖母と暮らしてきました。祖母は高齢なので、あまり働けなくなりましたが、家族の生活を確保しながら、私の学費を負担しなければなりませんので、とても困難です。このことが私の原動力になって、勉強を必死に頑張ってきました。結果として、今学年は非常に優秀な学生の称号をもらい、とてもうれしいです。今日、青葉奨学金を受領して、たいへんうれしいです。この奨学金は私にとって、経済の面のみならず、精神の面にも大変大きな励みになっています。このご支援のおかげで、もっと頑張っていくことができるだけでなく、将来に対してもっと自信がもてるようになっています。里親さまからのご支援をいただいて、とても感動しています。皆さんの期待を裏切らないように、自分自身に勉強に絶えず努力し続けると約束しています。

最後になりますが、里親さまの方々に心から御礼を申し上げます。

## 困難な子を支援したい

ヒュン・ヴィン・クアン

この手紙を通じて、就学期間の間、里親様からいつも励ましのお言葉をいただいたことにお礼を申し上げます。前学期、学校の成績が良くなく落ち込みました。もっと努力しなければなりません。そろそろ人生を決める曲がり角に進んで来ました。自分の選択が成功するかどうかわわかりませんが、いずれにしても精一杯頑張ります。

里親さまがご健康でいらっしゃることを願っています。もし、何か困難があったり、不運なことがあっても、里親さまの期待を裏切らないように、私はもっと誠実に取り組みます。将来成功したら、里親さまが私にしてくださったように、困難な境遇にある子ども達が世界を広げ、逆境を乗り越える力を持てるように支援したいです。

これからの計画も考えてみました。家族の家計を助け、いろいろ経験して自分に合った職業を知るためにアルバイトをします。そうすれば、両親の大変さを理解したり、社会のことをより見えるようになったり、頑張る力を得ることができると思います。

最後に、里親様がいつも健康でいらっしゃることを心からお祈りいたします。

## 舞台映画大学に入りたい

グェン・ミン・チ

今日、青葉奨学金を受け取つりました。とてもうれしかったです。奨学金をいただいて、私は頑張って勉強します。今年12年生ですが、1年に2回奨学金をいただきました。大きな金額ではありませんが、里親の皆さんの深い愛情で、皆さんが私にくださったものです。初めて奨学金をいただいたのは、12年生になる試験準備をしていた時でした。そのおかげで、試験期間を乗り越えるエネルギーをいただけて、優の成績を取ることができました。その得点にとても満足だし、期待の通りでした。将来、小さいころから今まで望んでいた舞台映画大学に入るために、一生懸命勉強し、もっと良い成績を取ります。そして、夢を叶え、故郷に戻り、自分よりもっと困難な子供に手を貸したいです。12年生への進級試験の時とても心配していましたが、奨学金をいただいて、私の勉強は日に日に成果を上げていきました。私の里親さまはどのような方かわかりませんが、里親さまのご健康とお仕事の成功をお祈りします。この手紙は、物質的に評価されるようなものではありませんが、私の心と気持ちが込められています。里親さまが読んでくださって、私の気持ちを感じてくださることを願っています。将来、故郷や社会に役立つ人間になれるように、一生懸命勉強して高い成績を取ります。私の里親さまに、心からの深い感謝を伝える以外には何もありません。里親さまの幸運とお幸せをお祈りします。

## 奨学金で学校の楽しみが増えた

グェン・ホアン・フイ

この2年COVID-19で全国で経済ダメージを受け、たくさんの人が困っており、私の家族も少なからず影響を受けました。感染予防対策で全ての学生が学校へは行けず、オンライン形式で自宅から授業に出ていますが、学校で学ぶほど効果でなかったです。長い感染状況が続いた後に1回目の奨学金をいただけたことで、経済的に助けられました。2

回目をいただいたのは、12年生にもうすぐなるところです。12年間の勉強成果が決まる1年です。私は内向的で、一人ですることが好きで、知らない人とあまり話しません。知り合いとはたくさん話します。私はコンピュータ修理がとても好きなので、まずはコミュニケーション力を身につけ、より外交的で主体的になれるよう努力します。家族の経済力を考えて、高校卒業したらコンピュータ修理関係の専門学校に入りたいと思っています。ソサエティ4.0と言われる時代の今、機器もレベルアップされており、自分の選択した職業では必ずプロになる必要があると思います。自分が選んだこの職業が好きなので、より励んで努力します。奨学金を自分だけでなく、これまでもたくさんの先輩学生に与えてくださって、本当にありがとうございます。皆さまには、これからも私と同じように困難な状況の人々への支援を続けていただきたいです。奨学金のおかげで学校での楽しみが増えました。あらためて皆さまへの感謝の気持ちを表し、ご健康をお祈りします。

KODOMO　KIKINの皆様、本当にいつもありがとうございます。

ハノイ北西部マイチャウ
（本文とは関係ありません）

# 里子の結婚

里子のDuong君が結婚することを知ったのは、結婚式の約1ヶ月前でした。久しぶりに受信した英語でのメッセージは、いつもの何気ない近況の共有に始まり、「彼女できた？」の、私の不躾な質問に彼はこう答えました。「僕を支援してくれたことに改めて感謝を伝えたいです。初めて会った時、僕はまだ少年でした。そして今、成長して仕事をしています。…そして結婚します！（原文：英語）」

彼はよくお手紙を書いてくれる少年でした。学校のこと、生活のこと、夢のことなど、いつも自分の気持ちを素直に伝えてくれました。両親を亡くし、歳の離れたお姉さん夫婦と暮らしていましたが、お姉さんに負担をかけているのではないか、学費が納められなくて学校から呼び出されるのではないかと、いつも何かを心配している子どもでした。東日本大震災の時も東京に暮らす私を気遣いすぐに手紙をくれました。母国語が違う私たちは、ボランティアの方による翻訳の協力がなければ、意思の疎通を図る事が出来ませんでしたが、彼が大学生になる頃から、お互いの勉強のためにも英語でコミュニケーションをとることを提案しました。言い出しっぺである私の英語力の向上は遅々たるものでしたが、彼の英語力はグングンと伸び、今ではシンガポールに本社を構える企業のシステムエンジニアとして英語で日常業務を行うまでになりました。

結婚式はハノイから南東に車で一時間ほどのところにある彼の故郷で執り行われました。あいにくの雨模様の中、彼の実家と隣家の庭を借り、いくつものテントが張られてたくさんのテーブルや椅子が白いレースで飾られていました。親戚や同僚、近所の方達がドレスや比較的ラフな装いで集まっており、27年前にホーチミンで誂えたアオザイをまとった私はどこかチグハグな気がして気恥ずかしさがありました。彼のお姉さんは私の手を引いて改築された家の中を案内してくれました。13年前に訪問した時は、屋根から所々光が差し込

最初の訪問で

み、床には雨漏れを受けるバケツや洗面器が置いてありました。それらは跡形もなく綺麗に修繕され、赤やピンクの風船で埋め尽くされた新婚の二人の為の部屋が用意されていました。

いよいよ新郎新婦が登場する時、少し離れたところでカメラを構える私に気づいた彼は、中腰で花嫁さんのドレスの裾を気遣いながら「あっ！」

Duong君と西野さん、二度目の訪問で

という表情で小さく手を振ってくれました。脳がビリビリするほどの音量で音楽が流れ、親戚や同僚の方々の挨拶、熱唱と続き、お姉さんから花嫁さんへ贈り物の贈呈がありました。気丈に振る舞いながらも少し涙ぐまれたお姉さんを見た時、私の涙腺は崩壊してしまいました。お母様が亡く

二人の大学卒業祝いで。左は同じく西野さんの里子だったタムさん。現在は医者になりました。

なられた後、産まれたばかりの赤ちゃんを抱えた新婚のお姉さんにとって、まだ中学生になったばかりの弟の生活を守っていくことがどれだけ不安で大変だったことか。「僕は孤児になってしまった。」と不安を募らせていた彼自身はもちろんのこと、お姉さんの事も常に気がかりでした。華やかな結婚式を迎え、弟の素敵な花嫁さんを前にしたお姉さんの心中は、だれにも想像できないでしょう。

新郎新婦がテーブルに挨拶に来られ、彼が「僕が少年だった頃から大学を卒業するまでずっと姉と僕を助けてくれて…」と挨拶を始めるや私の涙腺は再び崩壊してしまいました。私の中ではいつまでたっても“小さな甥っ子の手を引いて田んぼに行き、カモの餌にするためのタニシを捕る少年“だった彼が、今、両手を膝にのせ真正面を向いて畏まって感謝のことばを述べているのです。花嫁さんが差し出してくれた紙ナプキンで止まらない涙を拭うも、気持ちが昂りすぎてその先の彼の挨拶は全く耳に入ってこず、なんとも惜しい締めくくりとなってしまいました。

今回で里子の訪問は４回目でしたが、これまで彼らがどれだけ私の人生を豊かにしてくれたかに、改めて気づかされる機会になりました。支えているつもりでしたが、私は、心をホッコリさせてくれる愛を与えられ続けていました。

小雨が降る中、傘もまともにささずにタクシーまで見送りについてきてくれる彼を見て、初めて

訪問した時もいつまでもタクシーを追いかけて見送ってくれた小さな彼の姿が蘇りました。あっという間に大人になってしまったけれど、ツムジの寝癖とナナメになった蝶ネクタイが旅立ちの淋しさを埋めてくれました。彼のメガネは湿気で曇っていましたが、幼い頃の面影を残した穏やかな希望に満ちた笑顔はとても眩しかったです。

西野由美

# 事務局から

＊ご寄付をしていただいた方々のお名前を通信に掲載しておりましたが、この号からお名前の掲載は中止しました。ご寄付についてはお手元に届く寄付受領証明書で確認をお願い申し上げます。

＊7月31日に、公益財団法人「社会貢献支援財団」の社会貢献者表彰式があり、ベトナム子ども基金も表彰を受け、当基金からは４名で出席してきました。これは、「広く社会の各分野において、社会と人々の安寧と幸福のために尽くされ、顕著な功績を挙げながら報われる機会の少なかった方々を対象」とするもので、昨年、当基金に突然連絡があり、調査員が事務所を訪れ、調査のうえ受賞が決まりました。第59回となる今回は、30組の団体が表彰を受け、様々な分野、地域で、社会の各種の問題・課題の解決に努める方々を知り、交流も深めることができました。

ベトナム子ども基金は、この受賞を励みに、そして「社会貢献者」の名に恥じることのないよう、今後も尽力していきたいと思います。

皆さんのご支援、ご協力を引き続きお願い致します。

★詳しくは次号で報告します。

## ◆ベトナム子ども基金を応援してくれているサイトです。

### Junijuni　東京ガス

Junijuni でお買い物をしてくださったときに、代金の一部を、ベトナム子ども基金に寄付できます。

URL https://www.junijuni.jp/

### クリック募金　株式会社 Wakka　Inc.

毎日クリックするだけで、ベトナム子ども基金に募金できます。この募金は、ベトナムで事業を展開する IT 企業　株式会社 Wakka　Inc. の負担によるものです。クリックする方には１円の負担もかかりません。

https://heartin.com/

## ◆ベトナム子ども基金へのご寄付は、下記の口座にお願いいたします。

ご送金時の通信欄等に、お名前・ご住所・ご寄付である旨をお書き添えいただければ大変幸いです。

＜口座名　特定非営利活動法人ベトナム子ども基金　（カナ）：トクヒ）ベトナムコドモキキン＞

・郵便振替　　００１００－６－５４６７９９

・ゆうちょ銀行　　店名：〇一九 店（ゼロイチキユウ店）　店番：０１９
当座：０５４６７９９

発行人：樋川好美　　編集人：事務局　　デザイン：黒羽宏
© Vietnam Kodomo Kikin 2023